



株式会社ファームステッド
プレスリリース
2019.10.25

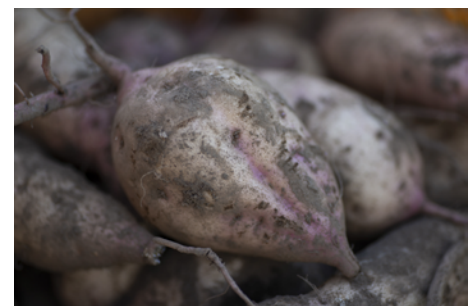
繊細な甘みと柔らかな食感にこだわったほしいもを栽培 株式会社クロサワファームのシンボルマークが誕生しました



株式会社ファームステッド(本社:北海道帯広市、代表取締役:長岡淳一・阿部岳、以下「弊社」)はこのたび、茨城県内でほしいもの原料生産およびほしいも製品の製造販売を行う「株式会社クロサワファーム」(茨城県・ひたちなか市、代表者:黒澤武史)のシンボルマークおよびブランディングデザインを手がけました。

同社はほしいもの本場である茨城県ひたちなか市において、代々90年にも渡り、甘さと柔らかさにこだわり抜いたほしいも作りを実践。原料いもの生産からほしいも加工、製造販売までを一貫して取り組んできました。その品質は非常に高く、地元ひたちなか、東海、那珂のほしいも農家さんと作られるほしいも協議会においてもW金賞を受賞(2019年)するなど、域内外において素晴らしい評価を獲得しています。

本シンボルマークおよびマークを配したパッケージ各種は、2019年10月16日(水)より開催のファベックス関西でお披露目となりました。



クロサワファームが大切にしている想いを3つの三角形で表現

シンボルマークに配置された3つの三角形には、クロサワファームが大切にしている「お客様本位」「高品質」「挑戦」の3つの想いが表現されています。それらが集約され、クロサワの「K」を形づくるイメージといたしました。

またイメージカラーには老舗感、伝統を感じさせる濃紺のイメージカラーに、いものイメージを持つ黄色を組み合わせました。

BEFORE



AFTER



株式会社クロサワファーム

茨城県・ひたちなか市で、繊細な甘みと柔らかさにこだわったほしいもを生産・販売。代々90年にもわたり営まれてきた歴史を活かし、原料いもの生産からほしいもへの加工製造までを一貫して自社で行なっている。2019年、茨城県特産の干し芋のトップを決定する第12回ほしいも品評会において「たまゆたか」と希少品種でW金賞を受賞。



株式会社ファームステッド

株式会社ファームステッドは農業をデザインするデザイン・ブランディングカンパニー。農家のシンボルマークや6次化のパッケージデザインなど「地方にこそデザインを!」をビジョンに活動しています。

<http://farmstead.jp>



長岡 淳一

(株)ファームステッド代表取締役
クリエイティブディレクター

1976年北海道帯広市出身。祖父が農業を営み、大学卒業後にUターン。世界各国を回った経験を生かし、デザインで農業と地域を発信するモデルを作り、地域振興ブランドプロデューサーとして活躍中。2012年、2014年グッドデザイン賞受賞他受賞歴多数。六次産業化プランナー。



阿部 岳

アートディレクター

1965年北海道帯広市出身。武蔵野美術短期大学グラフィックデザイン学科卒。都内デザイン事務所勤務の後、1996年有限会社ガクデザインを設立。企業のCI計画や商品ブランドの構築などをメインに活動。2013年、長岡淳一とともに株式会社ファームステッドを設立。